

はまぼうふう vol.23 2007.8.10.

石狩浜海浜植物保護センター通信

テーマは自然と人とのつながり

夏～秋の浜を歩いてみよう

砂浜に流れ着いたものを集めてみよう
どこから来たのかな？

海から？



海の生き物の死がい

魚具

山から？



木の实

木片

軽石や石炭

農作物

わたしたちの生活から？

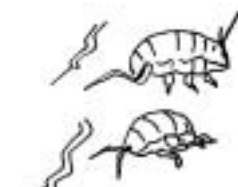


ペットボトル、空き缶、トレイ、ビニール袋、発泡スチロールの破片

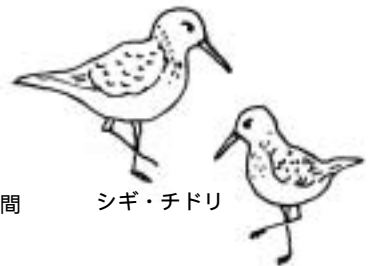
考えてみよう

この中で、分解されて自然に戻っていくものは？
一方、いつまでも分解されずに海を漂い続けているものは？

砂浜で生き物を探してみよう
波打ち際



小さなヨコエビの仲間



シギ・チドリ

流木の下

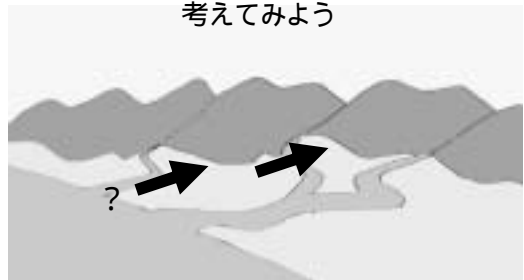


虫

考えてみよう

砂浜で暮らす生き物たちは何を食べているの？

考えてみよう



森 - 川 - 海をつなぐものは、川を流れて海に行き着くものだけではありません。
海から川を上って上流まで行くものには、どんなものがあるでしょう？

夏～秋の石狩浜で答えを探そう

自然観察会～秋の野鳥編～

日時：9月1日(土) 10:00～12:30

集合：はまなすの丘ビジターセンター

内容：シギチドリ類など野鳥観察、初秋の海浜植物観察。

定員：20名 対象：子ども～大人

こども自然教室

日時：9月15日(土) 9:30～15:30

集合：9:30 石狩市役所

内容：自然観察、浜の素材でクラフト遊び、ハマナスの実でジャムづくり。

定員：20名 対象：小学生と保護者

企画展示

8月27日まで「石狩浜昆虫展～小林英男さん標本展～」

8月30日から「海辺環境保全ポスター作品展」

8月30日から「石狩浜の野鳥～秋編～」

行事共通して

小学校4年生以下は保護者同伴

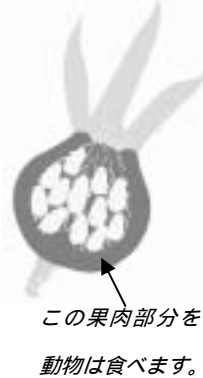
参加費：中学生以下100円

高校生以上300円

夏～秋自然観察のポイント

赤い実 ミニトマトのように見える赤い実はハマナスの実。なぜこんなに鮮やかな色をしているのでしょうか。それは、赤い果肉部分を動物に食べてもらうためです。食べてもらうことで、どんな利点があるのでしょうか？

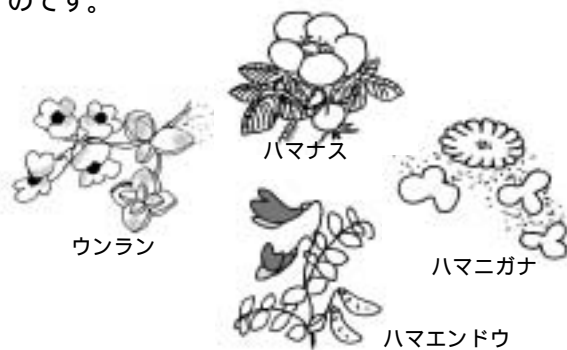
- 1) 赤い果肉部分を食べて除いてもらうと、中の種子が発芽しやすくなる(発芽促進)
- 2) 元あった場所から遠く離れた場所へ運んでもらい、中の種子を糞として出してもらい(長距離散布)



このようなことが考えられています。では、石狩浜でハマナスの果肉を食べている動物はどんなものがあるのでしょうか？

秋に元気付く砂浜の花 石狩浜では、秋まで花を咲かせ続ける種類が少なくありません。ハマナス、ハマエンドウ、ハマニガナ、ウンランがその代表。咲き始めは、5～6月(ハマナス、ハマエンドウ、ハマニガナ)、7月(ウンラン)なのですが、夏の暑い盛りは一度花がほとんど見られなくなります。そして秋、気温が下がってくると、再び花を付けるのです。

まるで花も夏休みをとっているようですね。そして秋、最後の仕事(受粉して実を結ぶこと)に励むのです。



ドングリはどこに？ ドングリは山とか森にあるイメージですが、石狩浜にもたくさんあります。といっても、砂浜にたくさん転がっているわけではありません。石狩浜では、海から200mほど内陸に、天然の海岸林が広がっています。この海岸林をつくる樹種が、ドングリのなる「カシワ」。比較的背の低い木も多く、志美北三線道路沿いでは、ドングリになっている様子がよく観察できます。さて、次のうち、カシワのドングリはどれでしょうか？



砂の上をよく見てごらん、タネさがし！ 海浜植物が茂るけども、砂地も見えている・・・という感じの地面の上をじーっと見てください。砂の上にいるんなタネが転がっているのがわかります。まん丸？先のとがった水玉型？半月のような形？



見つけたタネは拾って実験です。水を入れたコップにタネを入れ、しばらく放っておいた後、見てみましょう。浮いていますか？沈んでいますか？

同じくらい大きさの果物や野菜のタネと比べてみましょう。そして、海浜植物のタネはなぜ浮くか、考えて見ましょう。

わからないことは海浜植物保護センターで調べたり、尋ねてみよう。



石狩浜の写真や絵作品募集


石狩浜の自然風景などを描いた写真や絵など、作品をセンターで展示しませんか？

展示スペース：180×90cm 移動パネル 1面分から最大6面分

展示期間：一ヶ月間程度。作品は返却します

募集対象：どなたでも。(石狩市外の方もOK。)

応募は随時受け付けます。当センターへお気軽に問合せ下さい。



展示のようす
(7/6～7/25 橋本昭男さんと和美さんによる写真展)

アースデイin石狩

海と森でつながろう

～みんなですてきな環境をつくるために～

活動報告 & みんなのココロ



4月22日(日)円山動物園を会場にしたアースデイに、当センターも出展しました。「海浜植物の種子ポットづくり」では、石狩浜から砂と海浜植物(ハマウツク)の種子を持っていき、来園者にその場でポット(ビニ製の鉢)に砂を入れ種子をまき、自宅へ持ち帰って育ててもらいました。


普段、意識しない砂も、子どもたちがサラサラで気持ちがいいと感激していたこと、砂浜に植物が育つということに驚く人がたくさんいたことが印象的でした。

今後も、海辺が身近でない人たちにも、その大切さや楽しさ、直面している問題を知らせていく必要を感じました。

6月2日・23日(土)「海辺と森のたんけん隊」を、札幌市西区で活動するフォレストーズ・クラブと共催で実施しました。

6月2日は札幌市西区西野の森で森編を開催。運動会と重なり参加者は10名と少なめでしたが、「水」をキーワードに、川の生き物や水質を調べたり、森仕事人として、サシユウオの棲む水溜りを、丸太を輪切りにしたもので囲い棲みやすい環境にする作業に取り組みました。

6月23日は石狩浜で海辺編を開催。参加者35名、協力スタッフ20名。砂浜に流れ着いたもの調べや、フィールドビンゴによる海浜動植物観察などで海辺の自然に親しんだ後、「森とのつながり」や「水の環」をキーワードに、砂浜で楽しく活動し、森編海編通した発見や思いをみんなで出し合い、「森ココロ海ココロ」として一枚の模造紙にまとめました。

海辺と森のたんけん隊のようすは、こちらからもご覧になれます。
 インターネットテレビ  <http://www.i-eris.tv/> 「04 石狩ぐらし」へ。



円山動物園でのブース



サシユウオの心地よい棲家、完成(森編)



水の環ができた! つながりを実感!(海辺編)

森ココロ海ココロメッセージボードから(センター-展示室、HPでも発信中)

出会い、発見

森で:クマのフン・イゾ サシユウオ・札幌の自然・川の生きもの・森での仕事がおもしろかった
 砂浜で:すてきな貝がら、魚の骨、すてきな流木、たくさんのゴミ
 海辺の草原で:たくさんの海浜植物・きれいな花・ハマナスの長い根っこ・イガイガ・たくさんの虫・海辺にテントウムシがいた

心で感じたよ

浜の風・ヒバリの声・波や風の音・砂がやわらかい・川のパワー・身近な自然も知らないことがいっぱい・またきたい・子どもの楽しそうな顔

気がついたよ

- ・山と海の砂で作った模型が楽しかった(山と海のつながりがわかった)
- ・水のつながりをはじめて知った。
- ・海岸に人工物がたくさんあった。地球にかえるのに何百年もかかるのに、びっくりした。
- ・人間のつくったものが自然のものより遅く地球に還ることがびっくりした

こうなったらいいな

- ・浜にゴミを捨てていかないでほしい
- ・海がきれいになってほしい
- ・山ではクマが平和にらせるようになってほしい
- ・海浜植物の役割(大切さ)を多くの人に知ってほしい
- ・人工の自然でなくありのままの自然でいられるといい

地球の未来を考えよう

- ・浜にゴミがいっぱいなのが残念
- ・星をよごしても何とも思わないのかな・・・。
- ・ゴミは自分で持って帰る、自分で減らす
- ・自然はすごい! やることをちゃんとやっている。

2007.8.10.

活動のようす&報告

石狩ふるさと自然塾～2007石狩浜編～

18名の受講者が、4月末より、石狩浜の自然や生活に関する話、植生調査とはまなすの丘の開花状況の観察など、石狩浜の自然の基本的な学習を重ねてきました。今後は、これまで学んだことを相手に伝えていくことなど、自然案内の体験にも取り組んでいきます。

名取ハマボウフウの会と寺泊観光協会が視察

7月13日 宮城県名取市閑上海岸と、新潟県長岡市寺泊で海浜植物の保護活動に取り組む両団体が、石狩浜の保護区と当センターを表敬訪問。短い時間でしたが、センター運営委員3名が案内し、情報交流しました。

ボランティア活動

定期観察&開花情報発信

これまで8回、延べ60名が参加して、第1,3,5水曜日に、はまなすの丘の開花状況の調査、記録を行っています。調査の結果は、撮影した写真とともに、センター展示室で開花情報として来館者に発信しています。

外来植物除去作業

4月25日 センター運営委員会、石狩市緑化推進協議会、石狩浜夢の木プロジェクト、石狩植物愛好会などから29名が参加して、はまなすの丘灯台周辺のががヤやセアカアリの除去作業に取り組みました。

公園花壇づくり

市民に海浜植物に身近に親んでもらうため、6月5日、市内の紅南公園と花川南公園の2箇所の花壇に、およそ100株の海浜植物を植えました。

行事の開催

5月19日(土)自然観察会

残念ながら、参加申込者が少なく、中止しました。

5月26日(土)野鳥観察入門講座

参加者8名。石狩鳥類研究会の樋口さんより、前半はプロジェクトを使って野鳥観察の楽しさのお話、後半は、はまなすの丘で野鳥観察をしました。風が強くて肌寒く、野鳥観察には不向きな天気でしたが、最後にノゴマが観察でき、参加者からは感激の声が上がっていました。

6月2日・23日(土)海辺と森のたんけん隊

詳細は3ページ。

6月16日(土)石狩浜花鑑賞会

参加者12名。石狩浜の海浜植物を生き生きと描くボタカアーティストの安藤牧子さんから、絵を描くときのポイントなど楽しいお話を聞き、ハマナス花盛りのはまなすの丘を散策した後、ハマナスとハマヒルガオに彩色して、ボタカアーティストの雰囲気を楽しみました。

7月14日(土)自然観察会

参加者10名。はまなすの丘と厚田区シップの海岸植生を観察しました。はまなすの丘ではハマボウフウ、エゾカラナデシコが満開でした。

センターからお知らせ

自然情報カメラによる石狩浜のライブ画像を当センターHPから配信中!

&STVテレビお天気かみとしても、随時放映中!

身近に海浜植物を親しんでいただくため、海浜植物の種子を配布します。庭や鉢などで大切に育ててください。9月中旬より配布予定。

海浜植物の塗り絵(ボランティアさん作成)を、センターで配布中。来館記念にどうぞお持ちください。

展示室で、茨戸川と石狩湾沿岸の生きものを展示中!水の中の世界を垣間見ませんか?

行事、企画展示の予定は、1ページに掲載。

ボランティア活動参加しませんか?

定期観察

はまなすの丘の植物の開花状況を観察、記録。初めての方は、ボランティアさんから植物の話を聞きながら観察でき、勉強する場にもなりますよ。

10月までの毎月第1,3,5水曜日実施。

10時海浜植物保護センター集合。

種子採集

ハマボウフウやハマヒルガオなどの種子集めと袋詰め作業。作業予定:8/31(金)、9/7(金)、9/12(水)、10時海浜植物保護センター集合。

外来植物除去

石狩灯台周辺のセアカアリやががヤの除去作業。10月中旬予定。

詳細はお問い合わせください。

問合せ・申込み

石狩浜海浜植物保護センター 〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel.0133(60)6107

石狩市役所生活環境部内 〒061-329 石狩市花川北6条1丁目30-2 tel.0133(72)324

email. ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP: <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>